

東渓中学校だより

今年もあとわずか…

本校の2学期までの学校の経営・運営の状況をお知らせします。「子どもの活躍」は、引き続き「東渓中学校のあゆみ」でご紹介していますので、そちらをご覧いただければ幸甚でございます。(本校保護者、学校関係者等限定公開につき、パスワードで保護しています。)



2学期の東渓中学校の「経営・運営状況」等

【本校の学校の教育目標に係る評価】について（自己評価）

【学校の教育目標】

主体性を發揮しよりよく生きようとする生徒の育成
中間達成度 B+評価/A～D

※学校の重点目標

- 学校の教育目標達成に向け、①「**言語能力**」の向上を基盤とし
②**主体性**を發揮できる生徒の育成
達成度 **B評価/A～D**
- 物理的、心理的に安全・安心な学習環境の担保及び③**組織的授業改善**
の徹底
達成度 **B+評価/A～D**
- ④**学び続ける教職員**としての意識の向上及び⑤**小中連携を基盤**とした
学校・家庭・地域の連携、協働の実働
達成度 **B評価/A～D**

【目標①】習得語彙を活用し、主体性を発揮し自分の考えを言語化し伝え合う力の育成 について

【目標①】

習得語彙を活用し、主体性を発揮し自分の考えを言語化し 伝え合う力の育成

R7 期末評価 成果 課題

【成果】()内は達成率
 •自己調整力発揮し、家庭学習に取り組む生徒完全肯定率55%以上
56.2% (102.2%)
 •単元テストの正答率8割以上生徒が40%以上
34.0% (85.0%)
 •定期テスト「論理的に解答する」問題の平均正答率6割以上60%以上
47.6% (79.3%)
 •主体性を発揮し自分の意見を伝える生徒の完全肯定率70%以上
50.0% (71.4%)
総合達成率 (84.4%)

期末達成指標

•自己調整力を発揮し、家庭学習に取り組む生徒の完全肯定率55%以上
 •単元テストの正答率8割以上の生徒40%以上
 •定期テスト「論理的に解答する」問題平均正答率6割以上の生徒60%以上
 •授業等で「主体性を発揮し自分の意見を伝えることができる」生徒の完全肯定率70%以上

【次年度への成果・課題】

〈成果〉
 ◇東渓SDLの浸透、質的向上(外発性⇒内発性へ)が一定程度推進されている
 ◇発表の機会、精度が向上傾向
 〈課題〉
 ◇学年間の到達度の開きの是正(1年生への支援強化が必要)
 ◇**更なる授業改善**に基づく「論理的解答」の機会の精度向上
 ◇エビデンスに基づく個別の支援のあり方の追究

次年度重点取組

来年度へ： **真の自立した学習者**の追究が必要

子どもの自己調整力へフォーカスする
「東渓SDL」

○「自律した学習者」の育成に向け、子どもの内発性は高まっている

△組織的とまでは言えない授業改善・・・大きなうねり・変化まではまだ到達していない。

○「単元構想」の徹底 ← **「互見授業」が有効** (再掲)
研究主任のガバナンスが向上傾向

○学校全体に担保されている「支持的風土」「高い協働性」を更に活用する

参考値 (R7. 9月)

•自己調整力発揮し、家庭学習に取り組む生徒完全肯定率 **53.5%**
 •単元テストの正答率8割以上生徒が30%以上 **36.6%**
 •定期テスト「論理的に解答する」問題の平均正答率6割以上50%以上 **52.2%**
 •主体性を発揮し自分の意見を伝える生徒の完全肯定率70%以上 **57.1%**

【目標②】習得語彙を活用し、主体性を発揮し自分の考えを言語化し伝え合う力の育成 について

【目標②】

多様な意見や考え方を受け止め、建設的に発信し合意形成を 図ろうとする力の育成

R7 期末評価 成果 課題

【成果】()内は達成率
 参考値：※は肯定率
 •授業の主体的取組・充実
53.6% (107.2%) **※96.4%**
 •キャリア形成、学校生活の充実
39.3% (78.6%) **※85.7%**
 •よりよく学校生活を送る生徒
82.1% (164.2%) **※100%**
 •友だちや集団のために役に立てる生徒 **42.9% (85.8%)** **※100%**
総合達成率 (109.0%) **※95.5%**

達成指標 (期末継続)

以下について生徒の完全肯定率50%以上

- 授業に主体的に取り組み充実できている生徒
- キャリア形成を意識し学校生活を送る生徒
- 互いの意見を受け入れ、よりよく学校生活を送る意識を持つ生徒
- 友だちや集団のために役に立っている生徒

【成果と課題】

〈成果〉
 ◇経年の取組みによる**高い協働性**の継続、発展
 ◇**認知能力と非認知能力の往還**による人間性の涵養
 〈課題〉
 ◇「人の役に立つ」具体性が必要
 ◇**内発性の高まり**に伴う合意形成を行う方法の精度向上
 ◇更なるCSの効果的活用

次年度重点取組

◇授業改善の推進に**保護者、地域と一体化した体験学習実施**⇒効果↑
 ◇認知能力と非認知能力の往還が順調に進行しつつある「人間性の涵養」にコミット↑ 次年度へ！！
 ◇生徒は振り返り(振りの会：毎日)が効果的これにより、以下を実践(3年生)

合意形成の具体的な方法

⇒中央委員会(執行部+学級正副委員長)で目的を提示
 •各学級で**振りの会**を利用、目的の発表
 •協議事項を全体の場で発表・共有
 •全校生徒へ周知⇒行事の実施 振り返り

※毎日行なうことが大切：**積み上げ**

参考値 (R7. 9月)

完全肯定率
 ○「授業で活躍できたり、充実したりしていると思うか」 **57.1%**
 ○「自分の将来の夢や目標に向けて学校生活を送っているか」 **42.9%**
 ○よりよく学校生活を送る生徒 **71.4%**
 ○「友だちや集団のために役に立ちたいと思うか」 **42.9%**